

「第8回県民意識調査」調査結果(速報)

調査の概要

- 1 調査テーマ 『長期ビジョン指標について』
- 2 調査対象 県内に居住する満20歳以上の男女個人
- 3 標本数 5,000
- 4 調査方法 郵送法(ハガキによる督促1回)
- 5 調査時期 平成14年10月3日~10月30日
- 6 回収率 59.8%

調査結果

1 長期ビジョン指標

今回の調査では、県民主役・地域主導のもと、平成13年2月に策定した「21世紀兵庫長期ビジョン」の実現状況を把握するため、4つの社会像に関する合計54の指標について、県民の主観的な意識や行動を尋ねるとともに、指標そのものの重要度を聞いて今後の長期ビジョン指標の設定にも資することとした。

なお、長期ビジョン指標については、本年5月、既に試案として公表したところであるが、今後庁内委員会での検討や長期ビジョン推進委員会での審議をふまえ、試案のバージョン・アップを図り、平成15年度当初の本格運用をめざしている。

《全県ビジョンがめざす4つの社会像》

創造的市民社会

- (1)一人ひとりが主体的に行動する新しい市民社会
- (2)個人の能力や可能性が最大限に発揮できる社会
- (3)生活の基盤が保障され、健康で安心して暮らせる社会

環境優先社会

- (1)人と自然が調和した健康で快適な「共生と循環」の社会
- (2)循環に即した生活・経済活動が確立した社会
- (3)循環を促すさまざまなしくみが整った社会

しごと活性社会

- (1)創造的な働き方ができる社会
- (2)新しいしごとにチャレンジできる社会
- (3)多様なしごとが地域の活力を育てる社会

多彩な交流社会

- (1)まちの暮らしにふれあいや安らぎがある社会
- (2)個性輝く都市やまちから世界へと交流が広がる社会
- (3)交流を育む基盤・しくみが整った社会

(1) 各指標に係る回答結果(社会像別)

A. 「創造的市民社会」に関する指標について

体験学習が子どもの成長に役立つ、災害時の避難所を認知などは『肯定的意見』が約7割

創造的市民社会に関する指標では、体験学習が子どもの成長に役立つ に対し「そう思う」は35.4%、「まあそう思う」は34.8%で、両者を合わせた『肯定的意見』は70.2%に及び、約20指標(他の社会像の指標と重複あり)の中では最も高い。次いで『肯定的意見』の比率が高いのは 災害時の避難所を知っている (同67.3%)で、以下 健康づくりに取り組んでいる (同61.1%)、自分らしい暮らし方ができている (同60.3%)、かかりつけ医がいる (同60.1%)、子どもの遊び場や人々の憩いの場がある (同58.6%)、頼りになる知り合いが近所にいる (同58.1%)、食べ物や飲み水は安心である (同52.7%)と続き、これらは肯定的意見が半数を超えている。

一方、『肯定的意見』の比率が低い指標は、老後に不安を感じない (同15.4%)、地域の学校行事によく参加している (同20.5%)、地域での自分の活躍の場がある (同20.7%)、近所の子ども名前を知っている (同22.0%)、ボランティア活動のために金額を負担してもよい (同23.2%)、文化・体育施設をよく利用する (同24.6%)の順となっており、老後に不安を感じるとする『否定的意見』(「少し不安」+「不安」)は74.4%に及んでいる。

なお、平日の家族の会話時間は、平均131.5分となっている。

『肯定的意見』の比率が高い順

指 標	選 択 肢 (下段:比率)					肯定的意見 (計)	否定的意見 (計)	肯定的意見 と否定的意見 の差	
	そう思う	まあそう思 う どちらとも いえ	どちらとも いえ	あまりそう 思わない	そう思わ ない				無回答
(49) 体験学習が子どもの成長に役立つこと	35.4	34.8	14.5	3.7	3.0	8.7	70.2	6.6	63.6
(9) 災害時の避難所	50.7	16.6	2.8	10.9	17.9	1.1	67.3	28.8	38.6
(1) 健康づくりへの取り組み	25.8	35.3	11.5	18.5	7.0	2.0	61.1	25.5	35.7
(3) 自分らしい暮らし方	14.5	45.8	17.8	14.2	6.7	1.0	60.3	20.9	39.4
(8) かかりつけの医者	45.7	14.4	7.6	8.7	22.3	1.2	60.1	31.1	29.0
(27) 子どもの遊び場や人々の憩いの場	29.6	28.9	10.1	15.0	11.5	4.8	58.6	26.5	32.1
(22) 頼りになる近所の知り合い	37.0	21.2	14.2	10.0	14.6	3.0	58.1	24.6	33.5

(50) 食べ物や飲み水の安全性	安心 13.9	まあ安心 38.8	どちらとも いえない 15.9	やや不安 16.5	不安 11.7	無回答 3.2	安心(計) 52.7	不安(計) 28.2	安心 - 不安 24.5
(38) 夜9時以降の居住地の安全性	安心して歩ける 12.1	まあ安心して歩ける 34.8	どちらとも いえない 19.2	あまり安心して歩けない 20.6	安心して歩けない 10.0	無回答 3.3	安心して歩ける(計) 46.9	安心して歩けない(計) 30.6	安心して歩ける - 安心して歩けない 16.2
(35) ボランティア活動のために使ってもよい時間	週に1日以上 9.5	月に1日以上 36.7	半年に1日以上 17.2	1年に1日以上 9.5	さく時間はない 17.6	無回答 9.5	月に1日以上(計) 46.2	1年に1日以下(計) 27.1	月に1日以上 - 1年以下 19.1
(39) 居住地域における車の往来	出歩ける 10.3	まあ出歩ける 34.2	どちらとも いえない 19.4	あまり出歩けない 18.1	出歩けない 14.7	無回答 3.4	出歩ける(計) 44.4	出歩けない(計) 32.8	出歩ける - 出歩けない 11.6
(6) 外国文化に触れた感動	ある 23.6	まあある 15.3	どちらとも いえない 8.4	あまりない 16.9	ない 31.5	無回答 4.4	ある(計) 38.9	ない(計) 48.3	ある - ない -9.4
(29) 地域の風土や文化	よく知っている 4.0	まあまあ知っている 32.8	どちらとも いえない 16.0	あまり知らない 27.3	ほとんど知らない 15.6	無回答 4.4	知っている(計) 36.8	知らない(計) 42.9	知っている - 知らない -6.1
(4) 目的をもって学んでいるもの	ある 19.7	どちらかと いえばある 15.4	どちらとも いえない 12.4	どちらかと いえばない 12.2	ない 33.6	無回答 6.7	ある(計) 35.1	ない(計) 45.8	ある - ない -10.7
(47) 不当な差別がない社会	そう思う 6.3	まあそう思う 20.7	どちらとも いえない 32.5	あまりそう 思わない 16.4	そう思わ ない 19.9	無回答 4.2	そう思う (計) 27.0	そう思わ ない(計) 36.3	そう思う - そう思わ ない -9.2
(23) 子育てについて地域で支え合う雰囲気	ある 6.5	まあある 18.2	どちらとも いえない 27.0	あまりない 19.1	ない 17.8	無回答 11.4	ある(計) 24.7	ない(計) 36.9	ある - ない -12.2
(30) 文化・体育施設の利用	よく利用する 8.1	まあまあ利用する 16.5	どちらとも いえない 5.8	あまり利用 しない 20.3	ほとんど利 用しない 44.8	無回答 4.6	利用する (計) 24.6	利用しない (計) 65.1	利用する - 利用しない -40.5
(36) ボランティア活動のために負担してもよい金額	年間1万円以上 5.8	年間5千円以上 17.4	年間千円以上 5千円未満 30.7	年間千円未 満 21.3	支払うお 金はない 16.4	無回答 8.4	年間5千円 以上(計) 23.2	年間千円未 満(計) 37.7	年間5千円 以上 - 年間 千円未満 -14.5
(28) 近所の子どもの名前を知っている人数	10人以上 13.1	7~9人 9.0	4~6人 18.6	1~3人 29.9	0人 23.3	無回答 6.1	7人以上 (計) 22.0	3人以下 (計) 53.2	7人以上 - 3人以下 -31.2
(25) 地域での自分の活躍の場	ある 9.3	どちらかと いえばある 11.3	どちらとも いえない 17.9	どちらかと いえばない 15.8	ない 39.2	無回答 6.4	ある(計) 20.7	ない(計) 55.0	ある - ない -34.3
(24) 地域の学校行事への参加	よく参加する 6.2	まあまあ参加する 14.3	どちらとも いえない 8.2	あまり参加 しない 14.7	ほとんど参 加しない 45.8	無回答 10.7	参加する (計) 20.5	参加しない (計) 60.6	参加する - 参加しない -40.1
(7) 老後の不安	不安を感じない 4.4	あまり不安を感じない 11.0	どちらとも いえない 9.3	少し不安を 感じる 33.1	不安を感じ る 41.3	無回答 0.9	不安を感じ ない(計) 15.4	不安を感じ る(計) 74.4	不安を感じ ない - 不安 を感じる -59.0

注)29.地域の風土や文化は、D.多彩な交流社会に再掲

(18) 平日の家族会話時間	4時間以上 12.7	3時間以上 13.1	2時間以上 17.4	1時間以上 25.9	1時間未満 18.5	無回答 12.3	平均(分) 131.5		
----------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	-------------	----------------	--	--

B. 「環境優先社会」に関する指標について

ごみ分別やリサイクルに協力は約9割、電気の節約・水の節約に配慮は約8割が肯定的意見

環境優先社会に関する9指標の『肯定的意見』の比率をみると、ごみ分別やリサイクルに協力しているは「協力している」53.8%、「まあ協力している」34.6%で、両者を合わせた『肯定的意見』は88.4%と最も高い。次いで『肯定的意見』の比率が高いのは電気の節約など環境に配慮している（同80.6%）で、以下水を大切に使用している（同78.4%）、自然を守るためなら不便でもいい（同61.1%）、地元や県内でとれた農林水産物を買っている（同52.7%）と続き、肯定的意見が半数を超えている。

一方、『肯定的意見』の比率が低い指標は、身近な環境を知る仕組みが整っている（同12.3%）、開発や公共事業に住民の意見が反映している（同12.9%）、リサイクルショップやフリーマーケットを利用している（同22.6%）、家庭で環境のことを学んでいる（同36.8%）の順となっており、リサイクルショップやフリーマーケットを利用しているは『否定的意見』が66.9%に及んでいる。

『肯定的意見』の比率が高い順

指 標	選 択 肢 (下段:比率)					肯定的意見	否定的意見	肯定的意見 と否定的意見 の差	
(13) ごみ分別やリサイクルへの協力	協力している	まあ協力している	どちらともいえない	あまり協力していない	協力していない	無回答	協力している(計)	協力していない(計)	協力している - 協力していない
	53.8	34.6	4.5	3.0	1.8	2.4	88.4	4.8	83.6
(14) 電気の節約など環境に対する配慮	配慮している	まあ配慮している	どちらともいえない	あまり配慮していない	配慮していない	無回答	配慮している(計)	配慮していない(計)	配慮している - 配慮していない
	37.5	43.1	10.2	5.5	1.3	2.4	80.6	6.8	73.8
(11) 水を大切に使うこと	大切に使用している	まあ大切に使用している	どちらともいえない	あまり大切に使用していない	大切に使用していない	無回答	大切に使用している(計)	大切に使用していない(計)	大切に使用している - 大切に使用していない
	38.9	39.5	12.4	5.9	0.8	2.4	78.4	6.7	71.6
(16) 自然を守るための不便さ	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	そう思う(計)	そう思わない(計)	そう思う - そう思わない
	25.8	35.3	24.6	6.1	4.6	3.6	61.1	10.7	50.4
(33) 地元や県内でとれた農林水産物の購入	よく買っている	まあまあ買っている	どちらともいえない	あまり買っていない	ほとんど買っていない	無回答	買っている(計)	買っていない(計)	買っている - 買っていない
	19.0	33.7	18.8	14.0	10.3	4.1	52.7	24.3	28.4
(17) 家庭での環境学習	学んでいる	どちらかといえは学んでいる	どちらともいえない	どちらかといえは学んでいない	学んでいない	無回答	学んでいる(計)	学んでいない(計)	学んでいる - 学んでいない
	10.5	26.2	26.8	14.2	17.3	4.9	36.8	31.5	5.3
(12) リサイクルショップやフリーマーケットの利用	よく利用する	まあまあ利用する	どちらともいえない	あまり利用しない	ほとんど利用しない	無回答	利用する(計)	利用しない(計)	利用する - 利用しない
	7.6	15.0	6.7	22.4	44.4	3.9	22.6	66.9	-44.3
(51) 開発や公共事業への住民意見の反映	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	そう思う(計)	そう思わない(計)	そう思う - そう思わない
	2.2	10.8	30.3	22.4	28.6	5.7	12.9	51.1	-38.1
(52) 身近な環境を知る仕組みの整備	そう思う	まあそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	そう思う(計)	そう思わない(計)	そう思う - そう思わない
	1.7	10.6	35.6	24.6	21.7	5.9	12.3	46.2	-34.0

注)33. 地元や県内でとれた農林水産物の購入は、C. しごとと活性社会に再掲

C. 「しごとと活性社会」に関する指標について

5割強がしごとにやりがいを感じる反面、転職のしやすさは7割弱が否定的意見

しごとと活性社会に関する8指標の『肯定的意見』の比率をみると、しごとにやりがいを感じるは「感じる」23.7%、「まあ感じる」30.3%で、両者を合わせた『肯定的意見』は54.1%と最も高い。次いで『肯定的意見』の比率が高いのは地元や県内でとれた農林水産物を買っている(同52.7%)で、以下しごとと生活を両立させている(同50.8%)と続き、肯定的意見が半数を超えている。

一方、『肯定的意見』の比率が低い指標は、自分にあつた職業へ転職がしやすい(同2.6%)、居住地域は新しい事業をおこすのに魅力的だ(同13.2%)、居住地域の商店街や駅前に活気がある(同21.4%)、ボランティアなどの社会活動をしてみたい(同37.2%)の順となっており、自分にあつた職業へ転職がしやすいは『否定的意見』が67.2%に及び、居住地域は新しい事業をおこすのに魅力的だ、居住地域の商店街や駅前に活気があるも『否定的意見』が半数を超えている。

『肯定的意見』の比率が高い順

指 標	選 択 肢 (下段:比率)					肯定的意見 (計)	否定的意見 (計)	肯定的意見 と否定的意見 の差	
	感じる	まあ感じる どちらとも いえない	あまり感じ ない	感じない	無回答				
(19) しごとのやりがい	23.7	30.3	18.7	7.5	5.6	14.0	54.1	13.2	40.9
(33) 地元や県内でとれた農 林水産物の購入	19.0	33.7	18.8	14.0	10.3	4.1	52.7	24.3	28.4
(21) しごとと生活の両立	18.1	32.7	17.8	9.5	6.3	15.6	50.8	15.8	35.0
(20) しごとの技術や能力の 向上	15.6	26.5	23.0	10.6	8.5	15.9	42.0	19.1	22.9
(34) ボランティアなどの社 会活動	13.8	23.4	31.8	13.3	11.6	6.1	37.2	24.9	12.4
(46) 居住地域の商店街や駅 前の活気	3.6	17.8	21.7	25.8	26.8	4.4	21.4	52.5	-31.2
(45) 居住地域で新しい事業 をおこす魅力	4.1	9.1	25.3	23.0	33.7	4.9	13.2	56.7	-43.5
(48) 自分にあつた職業への 転職のしやすさ	0.5	2.1	17.7	20.9	46.2	12.5	2.6	67.2	-64.5

注)46.居住地域の商店街や駅前の活気は、D.多彩な交流社会に再掲

D. 「多彩な交流社会」に関する指標について

身近な自然とのふれあいの場の存在、住宅の満足感、地域の利便性を6割以上が肯定的意見

多彩な交流社会に関する17指標の『肯定的意見』の比率をみると、身近に自然とふれあえる場があるは「ある」37.9%、「まあある」29.5%で、両者を合わせた『肯定的意見』は67.4%と最も高い。次いで『肯定的意見』の比率が高いのは住居に満足している(同64.7%)で、以下居住地域は買い物や通院に便利だ(同64.1%)、居住地域はきれいだ(同57.0%)、居住地域に誇りや愛着を感じる(同55.0%)、公共交通機関をよく利用する(同52.2%)、居住地域以外でふるさとと思える場所がある(同51.5%)、災害に対し居住地域は安全だ(同50.9%)と続き、肯定的意見が半数を超えている。

一方、『肯定的意見』の比率が低い指標は、他の市町にある公共施設をよく利用する(同11.7%)、居住地域に訪問客が増えている(同13.4%)、インターネット普及で生活が向上した(同18.7%)、居住地域の商店街や駅前に活気がある(同21.4%)、地域にある公共施設をよく利用する(同23.6%)、外国人と直接交流がある(同23.8%)の順となっており、他の市町にある公共施設をよく利用するは『否定的意見』が74.7%に及び、外国人と直接交流がある、居住地域に訪問客が増えている、地域にある公共施設をよく利用する、居住地域の商店街や駅前に活気があるも『否定的意見』が半数を超えている。

『肯定的意見』の比率が高い順

指 標	選 択 肢 (下段:比率)						肯定的意見	否定的意見	肯定的意見 と否定的意見の 差
	ある	まあある	どちらとも いえない	あまりない	ない	無回答			
(26) 身近に自然とふれあえる場	37.9	29.5	7.3	11.2	10.8	3.4	67.4	22.0	45.4
(2) 住居の満足度	22.5	42.2	11.6	14.0	8.6	1.1	64.7	22.6	42.1
(40) 居住地域における買い物や通院の利便性	24.3	39.9	8.8	13.3	10.6	3.1	64.1	23.9	40.2
(42) 居住地域のきれいさ	13.5	43.5	20.6	12.8	6.4	3.2	57.0	19.2	37.9
(43) 居住地域に対する誇りや愛着	18.8	36.2	24.0	12.3	5.5	3.2	55.0	17.8	37.2
(15) 公共交通機関の利用	30.2	22.0	8.4	17.1	19.0	3.3	52.2	36.1	16.1
(10) 居住地域以外で「ふるさと」と思える場所	41.4	10.1	5.9	8.3	32.8	1.5	51.5	41.1	10.4
(37) 災害に対する居住地域の安全性	13.5	37.4	25.1	12.4	8.3	3.3	50.9	20.8	30.1
(53) まちなかへの車の乗り入れ制限	25.8	23.6	27.1	9.8	8.6	5.1	49.4	18.3	31.1

(41) 県内移動の利便性	そう思う	まあそう思 う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わな い	無回答	そう思う (計)	そう思わな い(計)	そう思う - そう思わな い
	14.4	31.4	17.7	16.2	15.7	4.5	45.8	32.0	13.9
(29) 地域の風土や文化	よく知って いる	まあまあ 知っている	どちらとも いえない	あまり知ら ない	ほとんど知 らない	無回答	知っている (計)	知らない (計)	知っている - 知らない
	4.0	32.8	16.0	27.3	15.6	4.4	36.8	42.9	-6.1
(5) 外国人との交流	ある	まあある	どちらとも いえない	あまりない	ない	無回答	ある(計)	ない(計)	ある - ない
	16.7	7.2	2.5	11.2	58.7	3.8	23.8	69.9	-46.1
(31) 地域にある公共施設の 利用	よく利用す る	まあまあ利 用する	どちらとも いえない	あまり利用 しない	ほとんど利 用しない	無回答	利用する (計)	利用しない (計)	利用する - 利用しない
	5.7	17.9	9.4	22.5	40.2	4.4	23.6	62.6	-39.1
(46) 居住地域の商店街や駅 前の活気	活気がある	まあ活気が ある	どちらとも いえない	あまり活気 がない	活気がない	無回答	活気がある (計)	活気がない (計)	活気がある - 活気がない
	3.6	17.8	21.7	25.8	26.8	4.4	21.4	52.5	-31.2
(54) インターネット普及に よる生活向上	そう思う	まあそう思 う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わな い	無回答	そう思う (計)	そう思わな い(計)	そう思う - そう思わな い
	5.2	13.5	24.3	18.7	30.2	8.0	18.7	48.9	-30.2
(44) 居住地域への訪問客の 増加	そう思う	まあそう思 う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わな い	無回答	そう思う (計)	そう思わな い(計)	そう思う - そう思わな い
	4.3	9.0	17.1	23.6	41.0	4.9	13.4	64.6	-51.2
(32) 他の市町にある公共施 設の利用	よく利用す る	まあまあ利 用する	どちらとも いえない	あまり利用 しない	ほとんど利 用しない	無回答	利用する (計)	利用しない (計)	利用する - 利用しない
	2.1	9.6	9.0	20.9	53.8	4.6	11.7	74.7	-63.0

E. 総合的な傾向分析

- 1 4 社会像全体 - 『肯定的意見』の比率が高い順 -

指 標	『肯定的意見』		社会像の種類
(13)ごみ分別やリサイクルへの協力	協力している(計)	88.4	環境優先社会
(14)電気の節約など環境に対する配慮	配慮している(計)	80.6	環境優先社会
(11)水を大切に使うこと	大切に使っている(計)	78.4	環境優先社会
(49)体験学習が子どもの成長に役立つこと	そう思う(計)	70.2	創造的市民社会
(26)身近に自然とふれあえる場	ある(計)	67.4	多彩な交流社会
(9)災害時の避難所	知っている(計)	67.3	創造的市民社会
(2)住居の満足度	満足(計)	64.7	多彩な交流社会
(40)居住地域における買い物や通院の利便性	便利だ(計)	64.1	多彩な交流社会
(1)健康づくりへの取り組み	取り組んでいる(計)	61.1	創造的市民社会
(16)自然を守るための不便さ	そう思う(計)	61.1	環境優先社会

- 1 4 社会像全体 - 『肯定的意見』の比率が低い順 -

指 標	『肯定的意見』		社会像の種類
(48)自分にあった職業への転職のしやすさ	そう思う(計)	2.6	しごと活性社会
(32)他の市町にある公共施設の利用	利用する(計)	11.7	多彩な交流社会
(52)身近な環境を知る仕組みの整備	そう思う(計)	12.3	環境優先社会
(51)開発や公共事業への住民意見の反映	そう思う(計)	12.9	環境優先社会
(45)居住地域で新しい事業をおこす魅力	そう思う(計)	13.2	しごと活性社会
(44)居住地域への訪問客の増加	そう思う(計)	13.4	多彩な交流社会
(7)老後の不安	不安を感じない(計)	15.4	創造的市民社会
(54)インターネット普及による生活向上	そう思う(計)	18.7	多彩な交流社会
(24)地域の学校行事への参加	参加する(計)	20.5	創造的市民社会
(25)地域での自分の活躍の場	ある(計)	20.7	創造的市民社会

総合的に見て肯定的意見が高い「ごみ分別やリサイクルに協力」「電気の節約など環境に配慮」

4つの社会像を合わせた54指標の肯定的意見の比率をみると、ごみ分別やリサイクルに協力しているが88.4%と最も高く、次いで電気の節約など環境に配慮している(80.6%)、水を大切に使っている(78.4%)と環境優先社会に関する指標が上位にあげられ、以下体験学習が子どもの成長に役立つ(70.2%)、身近に自然とふれあえる場がある(67.4%)などが上位にあげられている。

一方、肯定的意見の比率が低い指標は、自分にあった職業へ転職がしやすい(2.6%)が最も低く、以下他の市町にある公共施設をよく利用する(11.7%)、身近な環境を知る仕組みが整っている(12.3%)、開発や公共事業に住民の意見が反映している(12.9%)の順となっており、特定の社会像に偏ることなく分散している。

(2)指標についての重要度意識（社会像別）

「長期ビジョン」の4つの社会像に関する合計54の指標そのものについて、県民が大切と思うかどうか聞いた。

A. 総合的な傾向分析

- 2 4 社会像全体 - 重要度が高い順 -		社会像の種類
(1)健康づくりに取り組むこと	55.9	創造的的市民社会
(7)老後の不安がないこと	52.3	創造的的市民社会
(11)水を大切に使うこと	43.8	環境優先社会
(3)自分らしい暮らし方ができること	42.1	創造的的市民社会
(13)ごみ分別やリサイクルへの協力	41.6	環境優先社会
(2)住居に満足できること	39.3	多彩な交流社会
(14)電気の節約など環境に対する配慮	37.2	環境優先社会
(8)かかりつけの医者があること	37.0	創造的的市民社会
(50)食べ物や飲み水の安全性	35.7	創造的的市民社会
(22)頼りになる知り合いが近所にいること	35.5	創造的的市民社会

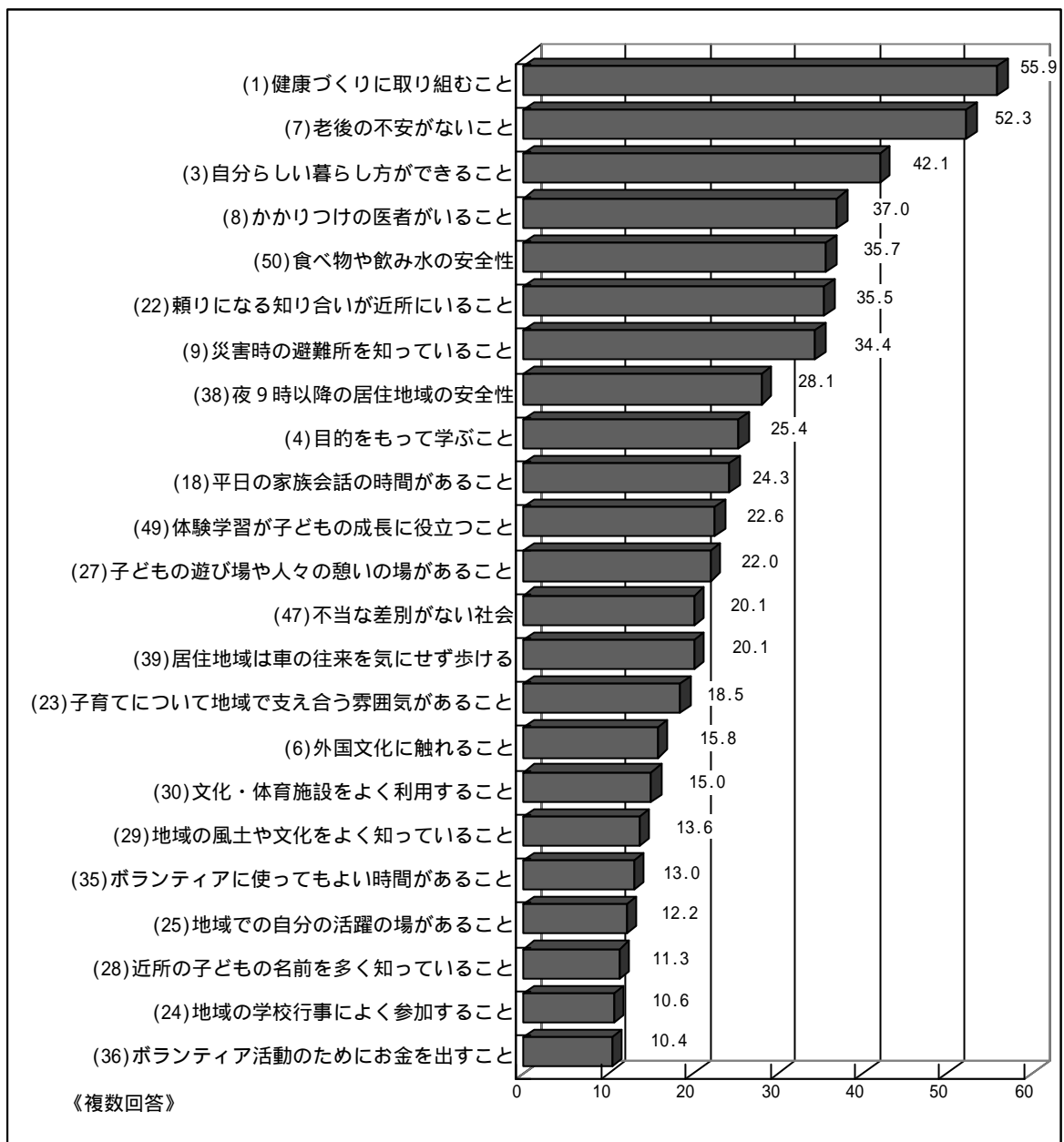
- 2 4 社会像全体 - 重要度が低い順 -		社会像の種類
(32)他の市町にある公共施設をよく利用すること	9.2	多彩な交流社会
(36)ボランティア活動のためにお金を出すこと	10.4	創造的的市民社会
(44)居住地への訪問客の増加	10.5	多彩な交流社会
(24)地域の学校行事によく参加すること	10.6	創造的的市民社会
(28)近所の子どもの名前を多く知っていること	11.3	創造的的市民社会
(45)居住地で新しい事業をおこす魅力	11.3	しごとと活性社会
(54)インターネット普及による生活向上	11.9	多彩な交流社会
(25)地域での自分の活躍の場があること	12.2	創造的的市民社会
(31)地域にある公共施設をよく利用すること	12.8	多彩な交流社会
(35)ボランティアに使ってもよい時間があること	13.0	創造的的市民社会

総合的に見て重要度が高い「健康づくりの取り組み」「老後の不安がないこと」

4つの社会像を合わせた54指標の重要度をみると、健康づくりに取り組むこと（55.9%）、老後の不安がないこと（52.3%）と創造的的市民社会に関する指標が高く、以下 水を大切に使うこと（43.8%）、自分らしい暮らし方ができること（42.1%）、ごみ分別やリサイクルへの協力（41.6%）などが上位にあげられている。

一方、重要度が低い指標は、他の市町にある公共施設をよく利用すること（9.2%）、ボランティア活動のためにお金を出すこと（10.4%）、居住地への訪問客の増加（10.5%）、地域の学校行事によく参加すること（10.6%）の順となっている。

B. 「創造的市民社会」に関する指標についての重要度



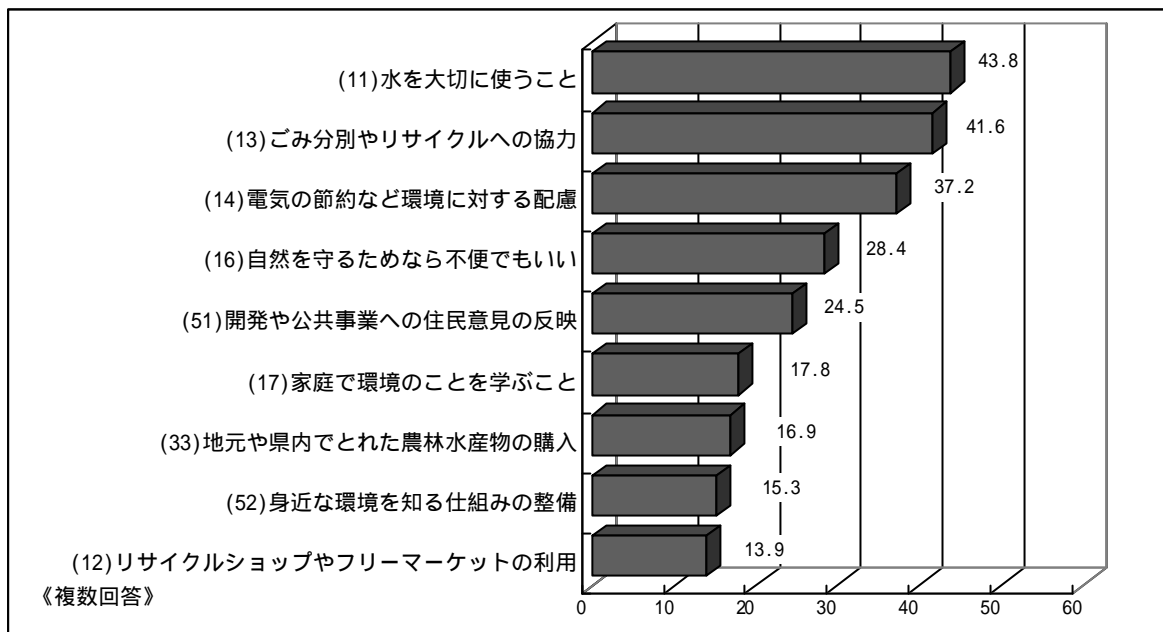
重要度が高い指標は「健康づくりへの取り組み」「老後の不安のないこと」

創造的市民社会に関する約20指標(他の社会像の指標と重複あり)の中で大切と思うかどうかを聞くと、重要度は健康づくりに取り組むことが55.9%と最も高く、次いで老後の不安がないこと(52.3%)が続き、5割を超えている。以下自分らしい暮らし方ができること(42.1%)、かかりつけの医者があること(37.0%)、食べ物や飲み水の安全性(35.7%)、頼りになる知り合いが近所にいること(35.5%)、災害時の避難所を知っていること(34.4%)などが上位にあげられている。

一方、重要度が低い指標は、ボランティア活動のためにお金を出すこと(10.4%)、地域の学校行事によく参加すること(10.6%)、近所の子どもの名前を多く知っていること

(11.3%)、 地域での自分の活躍の場があること (12.2%)、 ボランティア活動のために使ってもよい時間があること (13.0%)の順となっている。

C. 「環境優先社会」に関する指標についての重要度

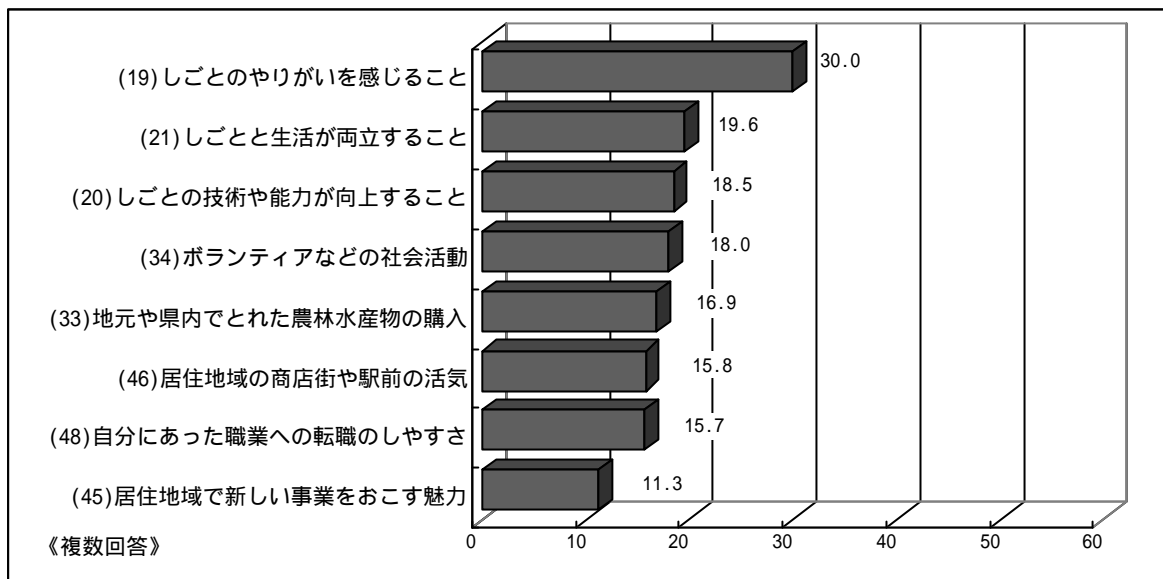


重要度が高い「水を大切に使うこと」「ごみ分別やリサイクルへの協力」

環境優先社会に関する9指標の中での重要度は、水を大切に使うことが43.8%と最も高く、次いでごみ分別やリサイクルへの協力(41.6%)が続き、以下電気の節約など環境に対する配慮(37.2%)、自然を守るためなら不便でもいい(28.4%)、開発や公共事業への住民意見の反映(24.5%)の順となっている。

一方、重要度が低い指標は、リサイクルショップやフリーマーケットの利用(13.9%)、身近な環境を知る仕組みの整備(15.3%)、地元や県内でとれた農林水産物の購入(16.9%)、家庭で環境のことを学ぶこと(17.8%)の順となっている。

D. 「しごとと活性社会」に関する指標についての重要度

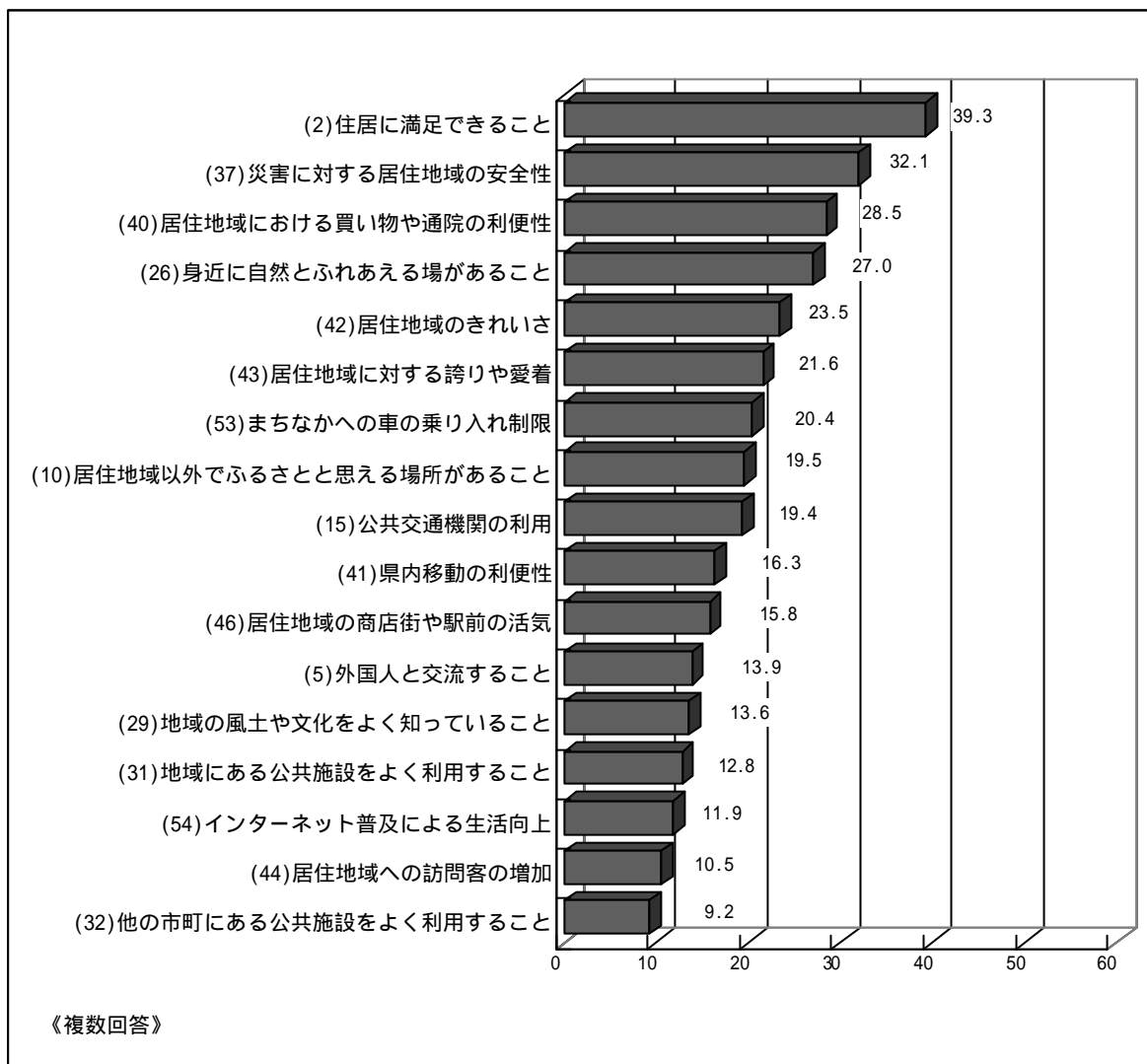


「しごとのやりがいを感じること」が重要度が最も高い

しごとと活性社会に関する8指標の中での重要度は、しごとのやりがいを感じること が 30.0%と際立って高く、次いで しごとと生活が両立すること (19.6%)、 しごとの技術や能力が向上すること (18.5%)、 ボランティアなどの社会活動 (18.0%)、 地元や県内でとれた農林水産物の購入 (16.9%)など、同じような比率が続いている。

一方、これら8指標の中では、 居住地域で新しい事業をおこす魅力 は 11.3%と、重要度が最も低い。

E. 「多彩な交流社会」に関する指標についての重要度



重要度が高い指標は、「住居に満足できること」、次いで「災害に対する地域の安全性」

多彩な交流社会に関する17指標の中での重要度は、住居に満足できること が39.3%と最も高く、次いで 災害に対する居住地域の安全性 (32.1%)が続き、以下 居住地域における買い物や通院の利便性 (28.5%)、 身近に自然とふれあえる場があること (27.0%)、 居住地域のきれいさ (23.5%)などが上位にあげられている。

一方、重要度が低い指標は、 他の市町にある公共施設をよく利用すること (9.2%)、 居住地域への訪問客の増加 (10.5%)、 インターネット普及による生活向上 (11.9%)、 地域にある公共施設をよく利用すること (12.8%)の順となっている。

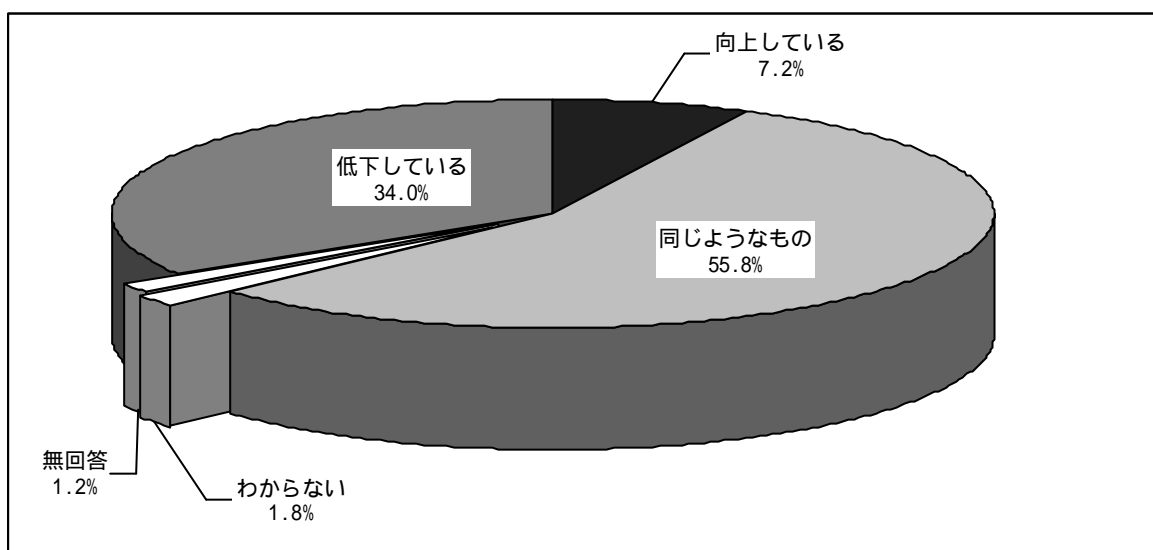
2 暮らし向きに対する意識

まとめ

生活の向上感については、「向上」と「同じようなもの」の合計は昨年調査より0.3ポイント減少し63.0%。一方、「低下」は34.0%で、平成11年度調査以降「低下」はわずかだが減少し続けている。

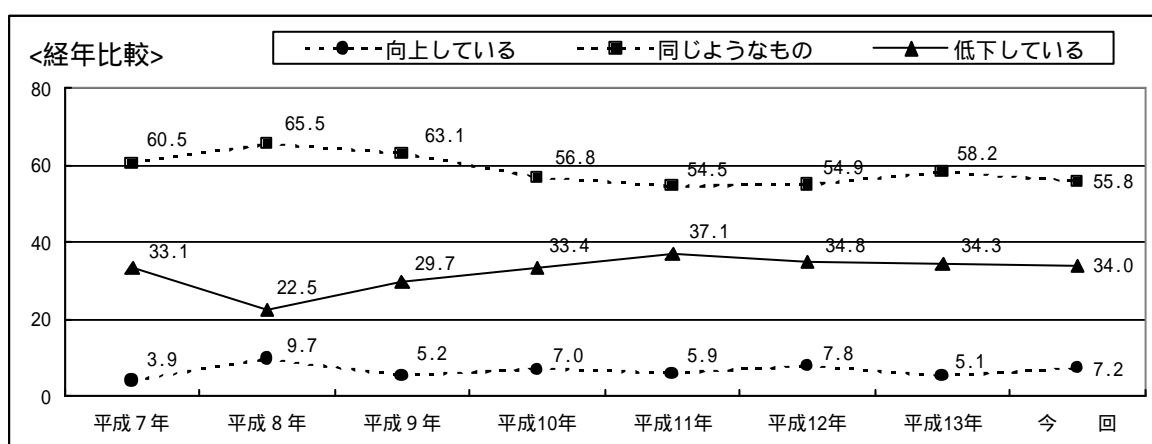
現在の生活の満足度は、昨年度調査と比較して『満足』（「満足」＋「まあ満足」）は4.0ポイント増加し50.1%。『不満』（「やや不満」＋「不満」）は4.1ポイント減少し41.1%と、『満足』が『不満』を9.0ポイント上回った。

(1)生活の向上感



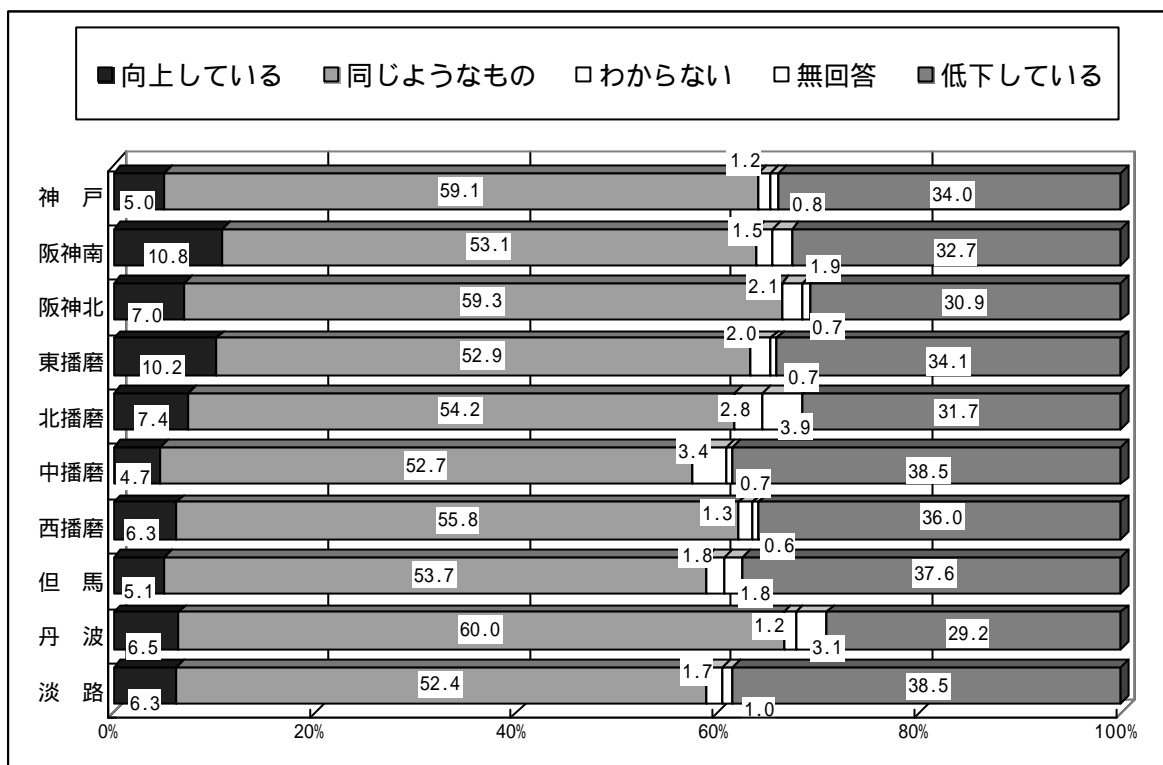
「向上している」＋「同じようなもの」が6割強で昨年と変わらず

1年前と比較した生活の向上感については、「向上している」（7.2%）と「同じようなもの」（55.8%）の合計が63.0%。一方、「低下している」は34.0%となっている。



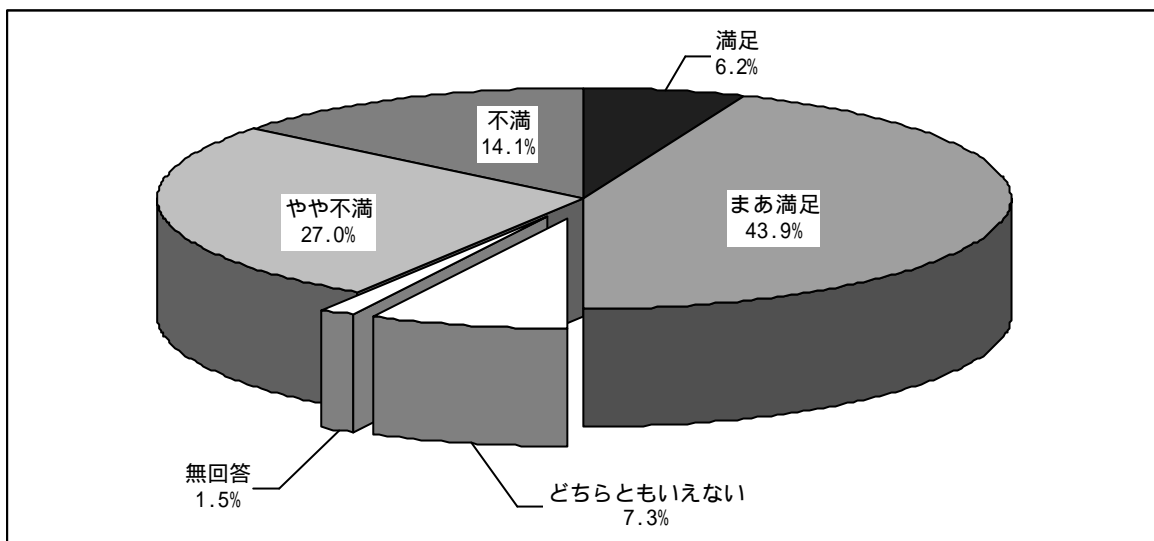
昨年度調査と比較すると、「向上している」は2.1ポイント増加、「同じようなもの」は2.4ポイント減少し、差し引き0.3ポイント減少している。一方、「低下している」は0.3ポイント減少したが、昨年

度と比べても、ほとんど変わらない。



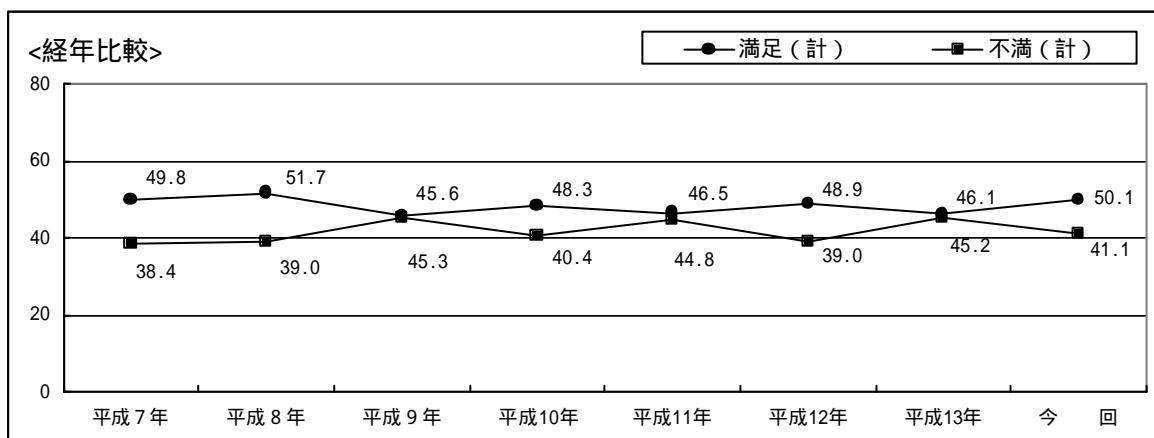
地域別にみると、「向上している」「同じようなもの」の合計は、丹波(66.5%)が最も高く、阪神北(66.3%)がそれに次ぐが、中播磨(57.4%)や淡路(58.7%)、但馬(58.8%)は他の地域よりも低い。

(2)生活満足度



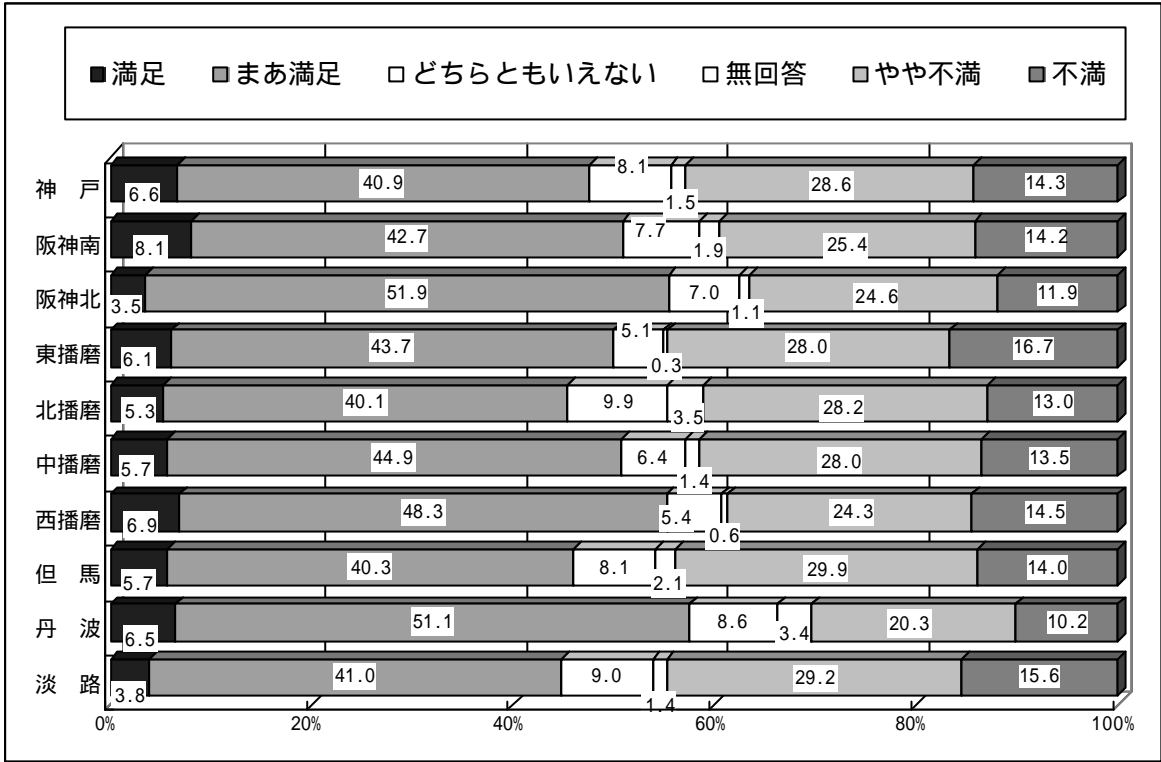
『満足』が『不満』を9.0ポイント上回る

現在の生活の満足度については、『満足』（「満足」＋「まあ満足」）が50.1%、『不満』（「やや不満」＋「不満」）は41.1%で、『満足』が『不満』を9.0ポイント上回っている。



昨年度調査と比較すると、『満足』は4.0ポイント増加、『不満』は4.1ポイント減少した。

地域別にみると、『満足』は丹波(57.6%)で6割弱と最も高く、『不満』(30.5%)を27.1ポイント上回っている。また、阪神北(55.4%)や西播磨(55.2%)も『満足』が5割半と、『不満』を16から19ポイント程度上回っている。一方、淡路では『満足』(44.8%)は4割半と最も低く、『不満』(44.8%)と同率、北播磨も『満足』(45.4%)が4割半と低い。

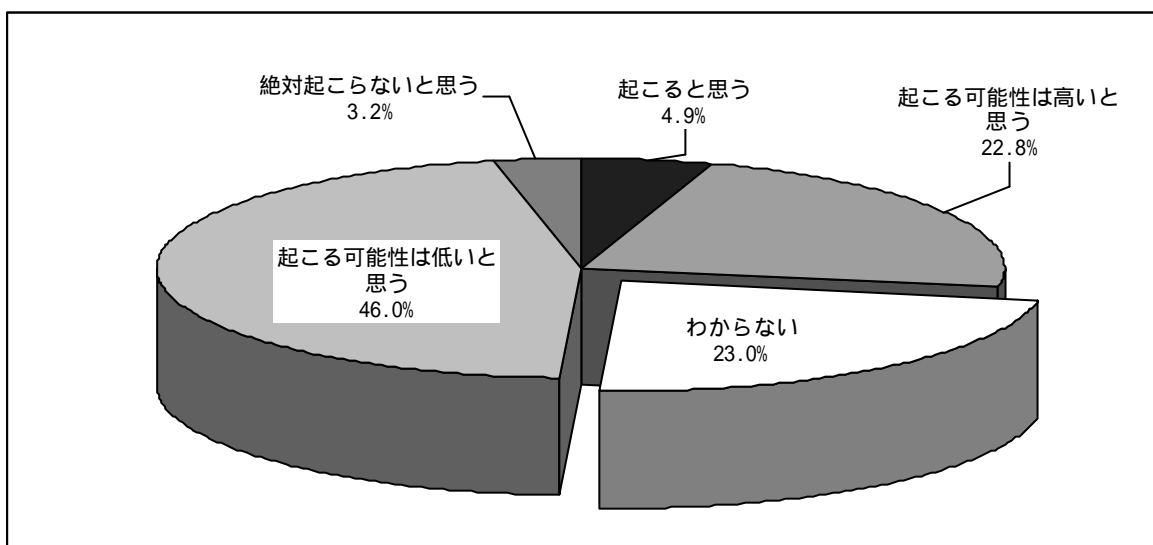


3 震災に対する意識

まとめ

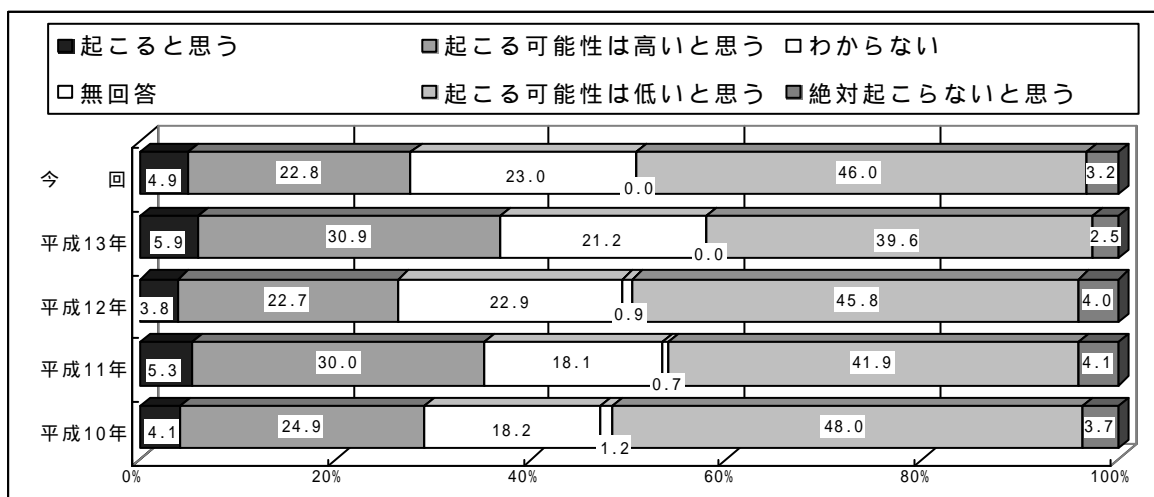
今後10年くらいの中に大地震が『起こると思う』（「起こると思う」＋「起こる可能性は高い」）と大地震発生を不安を抱く人は3割弱で、『起こらないと思う』（「起こる可能性は低い」＋「絶対に起こらないと思う」）は5割弱となっており、『起こらないと思う』は昨年度調査より7.1ポイント増加。一方、『起こると思う』は9.1ポイント減少した。『起こると思う』は地域別では西播磨で5割近くに及んでいるが、神戸や丹波では2割弱と低い。

(1)大地震発生を不安

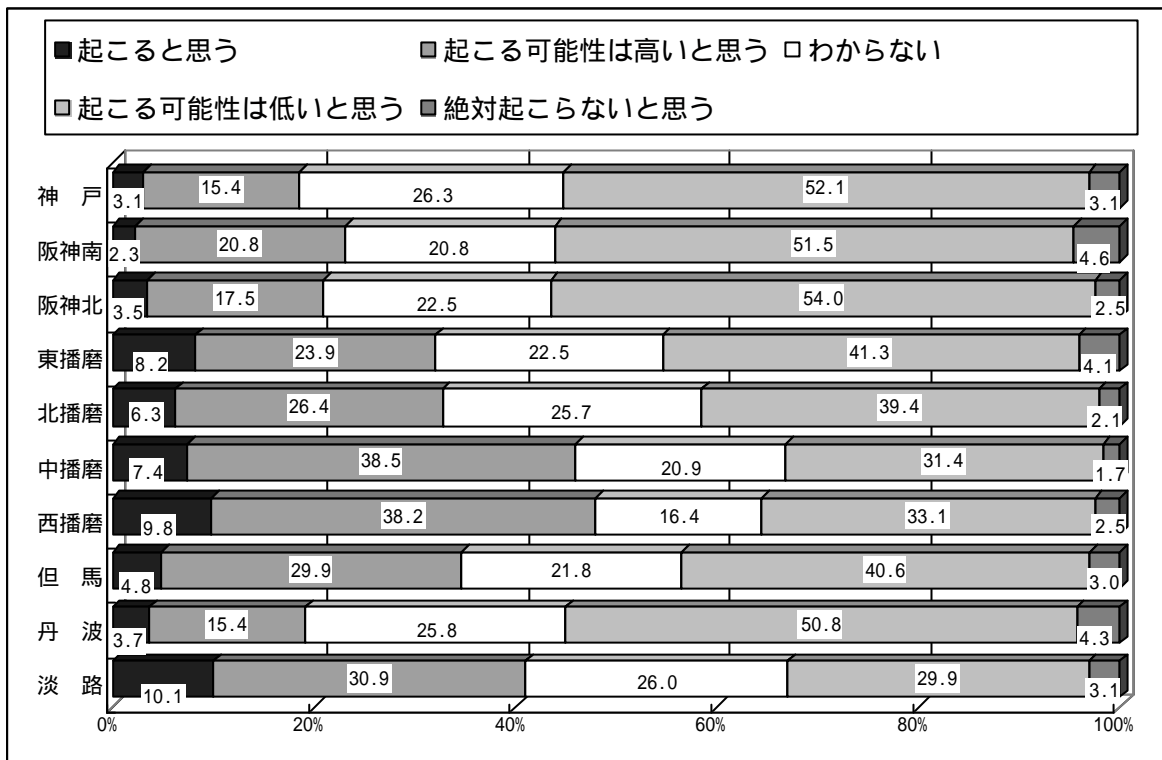


『起こると思う』は3割弱で昨年より9.1ポイント減少

今後10年くらいの中に大地震が起こると思うか聞いたところ、『起こらないと思う』（「起こる可能性は低いと思う」＋「絶対に起こらないと思う」）が5割弱(49.2%)で、『起こると思う』（「起こると思う」＋「起こる可能性は高い」）は3割弱(27.7%)となっている。



昨年度調査と比較すると、『起こらないと思う』が7.1ポイント増加する一方、『起こると思う』は9.1ポイント減少した。



地域別にみると、『起こると思う』は西播磨(48.0%)で5割近くに及び、中播磨(45.9%)がそれに次ぐ。一方、神戸(18.5%)、丹波(19.1%)では2割弱と低くなっている。

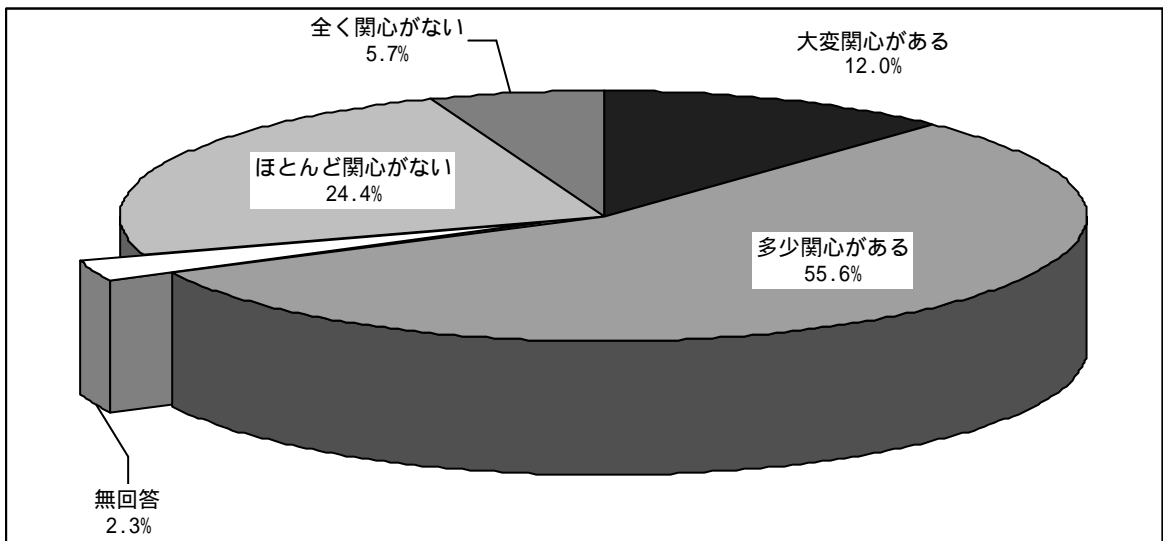
4 県政への意識

まとめ

県政について『関心がある』は7割弱で、昨年度調査より7ポイント程度減少した。地域別では丹波、阪神南、神戸で高い。

県政への評価は、17項目の中では「震災からの復興対策」「防災対策の充実」「県政の広報・広聴活動」「国際的な交流や協力」「交通網の整備」などで高いが、「雇用の安定」「中小企業の育成」「福祉対策」などは『努力が必要』としている。

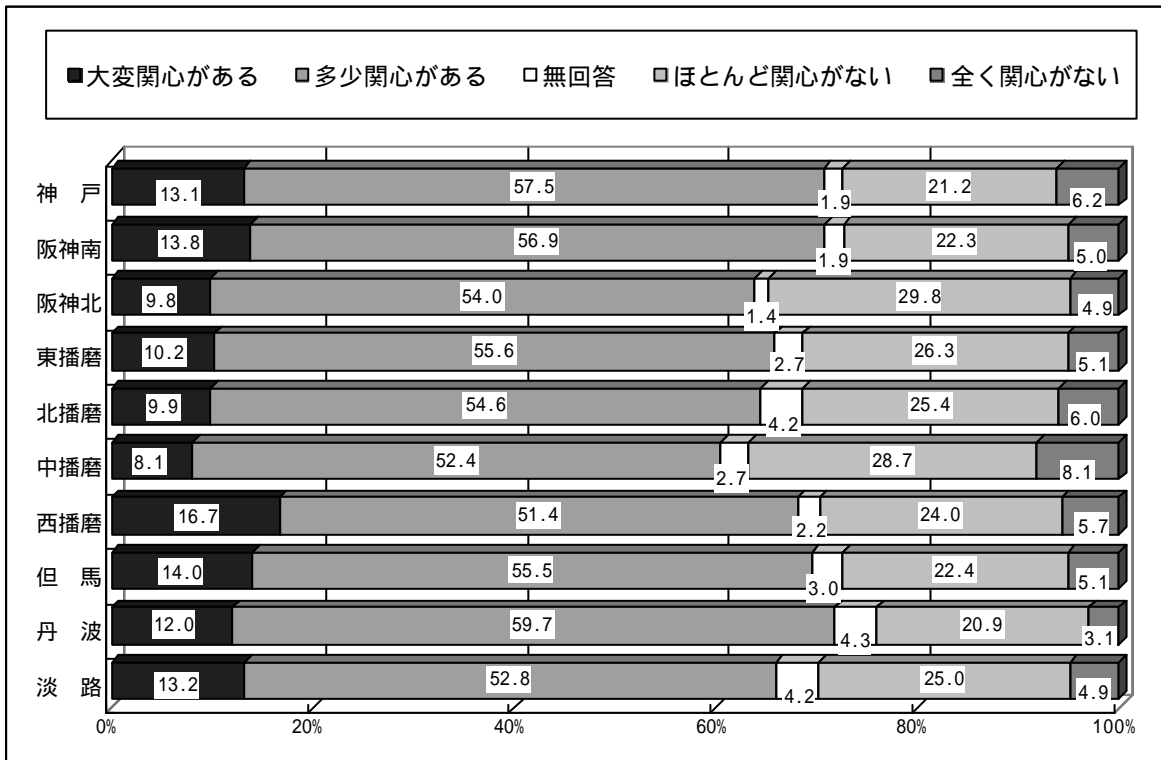
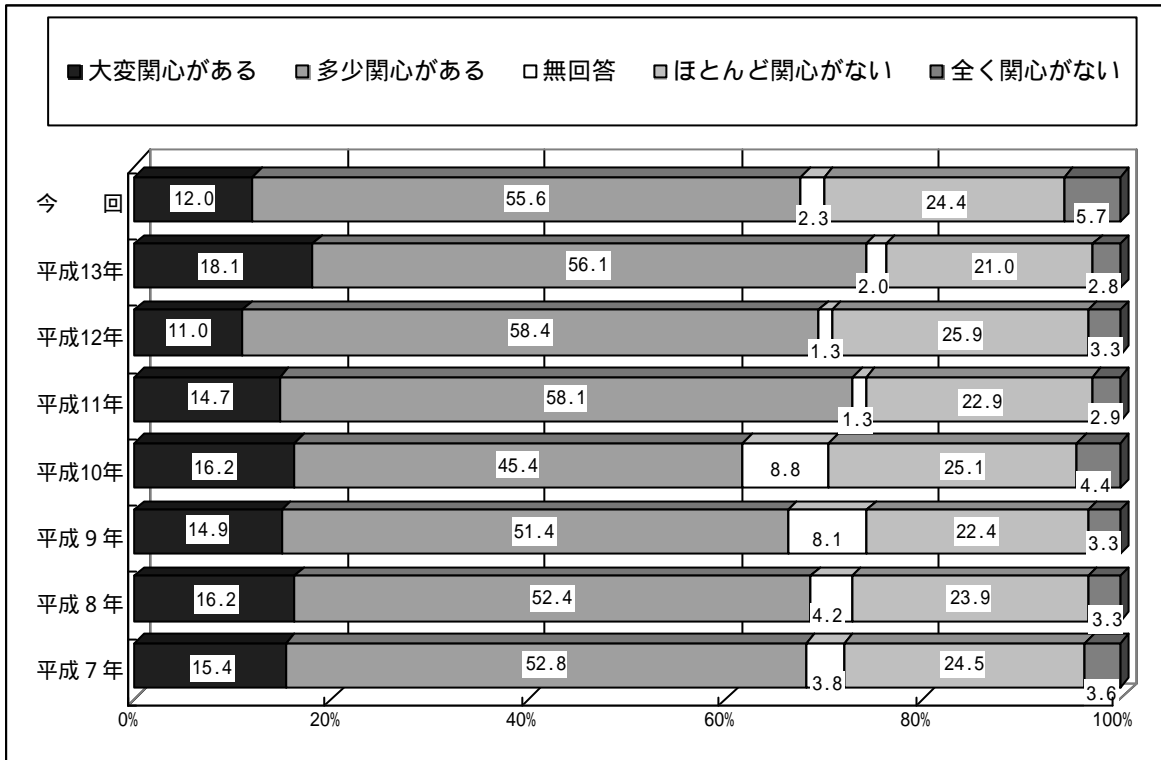
(1) 県政への関心



『関心がある』が7割弱

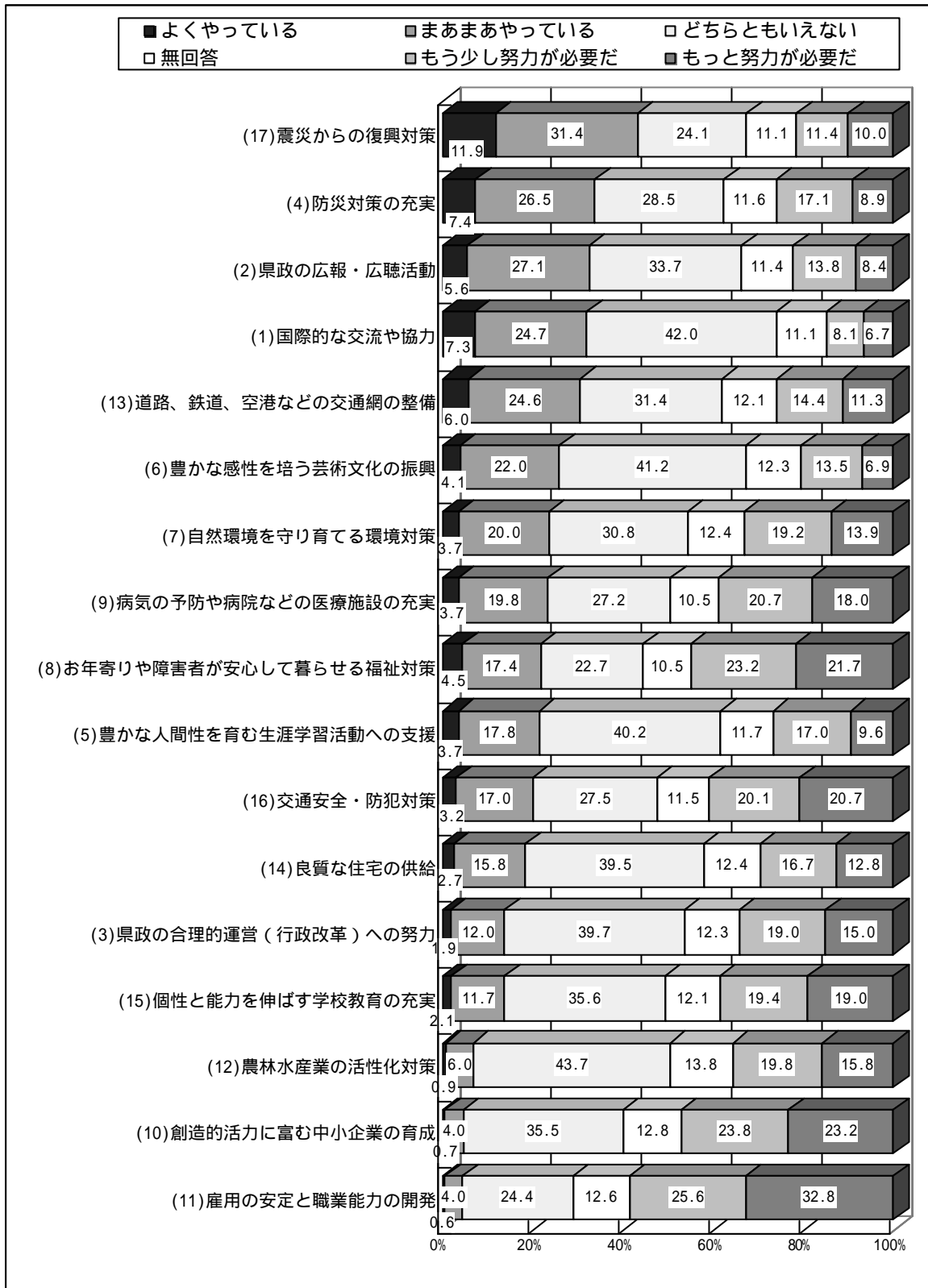
県政への関心については、『関心がある』（「大変関心がある」＋「多少関心がある」）は67.6%、『関心がない』（「ほとんど関心がない」＋「全く関心がない」）は30.1%となっている。

昨年度調査と比べると、『関心がある』は6.6ポイント減少し、『関心がない』が6.3ポイント増加した。



地域別にみると、『関心がある』は丹波(71.7%)、阪神南(70.8%)、神戸(70.6%)で7割を超え、それに対し中播磨(60.5%)は6割と低い。

(2) 県政への評価



「震災からの復興対策」がトップの評価

県政の主要17項目への評価（「よくやっている」～「もっと努力が必要」の5段階評価）の形で聞いた。

『やっている』（「よくやっている」+「まあまあやっている」）は、「震災からの復興対策」（43.3%）、「防災対策の充実」（33.9%）、「県政の広報・広聴活動」（32.7%）、「国際的な交流や協力」（32.0%）、「交通網の整備」（30.6%）で高く、『やっている』の高い項目の中で『努力が必要』（「もう少し努力が必要だ」+「もっと努力が必要だ」）を大きく上回っている項目は、「震災からの復興対策」（『やっている』-『努力が必要』21.9ポイント）、「国際的な交流や協力」（同17.2ポイント）、「県政の広報・広聴活動」（同10.6ポイント）である。

一方、『努力が必要』が高い項目は、「雇用の安定と職業能力の開発」（58.4%）、「創造的活力に富む中小企業の育成」（47.0%）、「お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策」（44.9%）、「交通安全・防犯対策」（40.8%）の順となっている。

「やっている（計）」が高い順	やっている（計）
(17)震災からの復興対策	43.4
(4)防災対策の充実	33.9
(2)県政の広報・広聴活動	32.8
(1)国際的な交流や協力	32.0
(13)道路、鉄道、空港などの交通網の整備	30.6
(6)豊かな感性を培う芸術文化の振興	26.1
(7)自然環境を守り育てる環境対策	23.7
(9)病気の予防や病院などの医療施設の充実	23.5
(8)お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	21.9
(5)豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	21.5
(16)交通安全・防犯対策	20.2
(14)良質な住宅の供給	18.5
(3)県政の合理的運営（行政改革）への努力	13.9
(15)個性と能力を伸ばす学校教育の充実	13.8
(12)農林水産業の活性化対策	6.9
(10)創造的活力に富む中小企業の育成	4.7
(11)雇用の安定と職業能力の開発	4.6

「努力が必要（計）」が高い順	努力が必要（計）
(11)雇用の安定と職業能力の開発	58.4
(10)創造的活力に富む中小企業の育成	47.0
(8)お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	44.9
(16)交通安全・防犯対策	40.8
(9)病気の予防や病院などの医療施設の充実	38.7
(15)個性と能力を伸ばす学校教育の充実	38.4
(12)農林水産業の活性化対策	35.6
(3)県政の合理的運営（行政改革）への努力	34.0
(7)自然環境を守り育てる環境対策	33.1
(14)良質な住宅の供給	29.5
(5)豊かな人間性を育む生涯学習活動への支援	26.6
(4)防災対策の充実	26.0
(13)道路、鉄道、空港などの交通網の整備	25.8
(2)県政の広報・広聴活動	22.2
(17)震災からの復興対策	21.5
(6)豊かな感性を培う芸術文化の振興	20.4
(1)国際的な交流や協力	14.8